

令和4年度第2回遠野テレビ放送番組審議会議事録

遠野テレビ放送番組審議会

会議名称	令和4年度第2回遠野テレビ放送番組審議会			
開催日時	令和5年2月7日(火) 午前10時00分～午前11時30分			
会 場	遠野市役所本庁舎 大会議室			
出席委員	会 長	菊池 武彦	委 員	立花 和子(途中出席)
	副会長	石直 亮彦	委 員	小笠原 康友
	委 員	松田 奈美江	委 員	菊池 豊
	委 員	千葉 眞由美	委 員	菊池 保夫
	委 員	小笠原 晃	委 員	中村 孝子
	委 員	菊池 タキ		
欠席委員	委 員	菊池 崇		
有線テレビジョン放送施設者・放送事業者	市長 多田 一彦 総務企画部経営管理担当部長兼情報推進課長 佐々木 啓			
事 務 局	情報推進課	課 長	佐々木 啓	
		課長補佐	佐々木 利幸	
		主 任	菊池 陽一朗	
	遠野テレビ	代表取締役専務	佐々木 浩章	
		技術営業グループマネージャー	伊藤 賢一	
		報道制作グループサブマネージャー	菊池 裕	

会議の経過及び審議結果

1 開 会 (情報推進課長)

只今から、遠野テレビ放送番組審議会を開会いたします。

2 市長挨拶

皆さんおはようございます。本日はお忙しいなか、お集まりいただきまして感謝申し上げます。

令和5年も1ヶ月を経過して暦の上では春となっておりますが、昨日も氷点下10度を下回り、さすが遠野という厳しい寒さが続いております。

春を呼ぶ遠野物語ファンタジーは昨年中止となりましたので、昨年予定していた「きつねの絵筆」を2月18日、19日上演することになります。

新型コロナウイルス感染症は、国から季節性のインフルエンザと同等の5類に移行する方針が示されており、各種イベントにおいてコロナ前の活動が取り戻されることが期待されております。遠野テレビの役割も当然増して、それ以上になっていくと思えます。

4月からの運営につきましては、株式会社遠野テレビが指定管理者となることについて12月市議会定例会で可決されております。

今、世の中はデジタルトランスフォーメーションと呼ばれるデジタル化への変革が急速に進んでおりますが、指定管理者制度の導入によって、民間感覚の柔軟な対応がますます重要になってきます。株式会社遠野テレビでは、それに合わせて様々な自主的なことも企画をしているようです。

本日は自主番組編成計画に関して、ご審議をいただくことになっております。

デジタル化の進展とともに、テレビの役割が大きく様変わりしている状況において、市民に愛され親しまれる番組作りをしていくことが使命と考えております。

本日は限られた時間ではありますが、各委員の皆様から活発なご意見をいただきま

して、実りある会にさせていただければと考えております。よろしくご審議くださるようお願いいたします。

いろいろな世の中の流れがありますが、遠野の子ども達も昨年は本当に大活躍でしたし、ますます市民の活躍を広く伝えられるような遠野テレビでありたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

3 会議成立の報告

※遠野市ケーブルテレビ放送施設条例第40条第4項の規定に基づき、菊池会長が議長席に登壇

議長：それでは会議成立の報告について事務局から報告願います。

課長：委員12名中、本日の出席委員は11名です。遠野市ケーブルテレビジョン放送施設条例第41条第2項の規定により、過半数以上の委員に出席いただいておりますので、本日の審議会が成立していることをご報告します。

4 報告

議長：次に、報告に入ります。事務局から説明をお願いします。

※佐々木情報推進課長補佐が、資料の内容を一括説明。

(1) 遠野テレビ自主放送番組の放送実績について

(2) その他報告事項

総務省報告事故案件なし。FTTH化整備による雷被害減少を報告。

佐々木浩章代表取締役専務：

株式会社遠野テレビの専務をしております佐々木と申します。

皆様にご報告したい内容としましては、前回の番組審議会の皆様方から遠野テレビに対するご意見、またご要望というものをいただいた内容について、すぐ社内に持ち帰って打ち合わせをしながら取組に関する見直しを行ってきました。

特にも、千葉委員からの、オリジナル番組の告知をテレビガイドまたはチラシ等で広報したほうが良い、との意見については社内で議論を行い、8月からチラシに掲載して告知しています。自主放送番組をチラシに掲載して配布することで、チラシをより身近に置いていただけるといった波及効果もございました。

遠野テレビフェアのときに加入者からアンケートを回収いたしまして、週3日以上視聴している方が7割以上いるということがわかりましたので、皆様からのご提言を反映しながら取り組んで参りたいと思います。

議長：事務局より報告がありました。確認したいことはありませんか。

菊池保夫委員：

インターネット Wi-Fi 設置について職員が個別フォローで歩いて回ったという報告に関連して、インターネットプロバイダを遠野テレビに変更できなくて困っていたところ、遠野テレビの職員が来て、プロバイダ変更を親切丁寧に対応していただきました。年寄りになるとなかなかできないものですから、この場をお借りしてお礼します。

千葉真由美委員：

小友町および宮守町内のインターネット Wi-Fi 設置により、災害時に通信手段が確立されるということでしたが、遠野エリアはどうなるのでしょうか。

事務局：説明が不足しておりまして大変失礼いたしました。遠野エリアにつきましては、昨年度に実施した FTTH 工事の際に、テレビのみ加入されている

世帯についても Wi-Fi を設置しております。残りの宮守と小友町エリア分について令和 4 年度に実施させていただいたという経緯になります。
インターネット未加入の場合でも、災害時には設置した Wi-Fi 環境を開放することになりますので、携帯等を利用して情報を取得できる環境が整ったこととなります。

千葉真由美委員：

遠野テレビ加入世帯は全て Wi-Fi が設置されたということですのでよろしいでしょうか？

事務局： はい。原則そのような形で整理させていただいておりますが、なかにはどうしても事情により設置を断られる方も実際にはありました。方針としては、全加入世帯に整備するというスタンスで進めております。

千葉真由美委員：

自主放送番組をチラシへ反映していただきありがとうございました。
チラシの件ですが、料金体系がすごく見えにくいですよ。Wi-Fi を整備したのに、Wi-Fi 光ネットってところを強調する必要あるのだろうかこのチラシは何を説明したいのか、分かりにくいと思います。

佐々木浩章代表取締役専務：

チラシの内容は毎月の営業会議で確認しています。基本的にテーマをいつも決めており、皆様方のチラシへの反応とかをリサーチしながら反映するということが基本として取り組んでおります。委員のお話も参考にさせていただきながら、どうやって見やすいチラシを作るかしっかり考えながら反映していきたいと思います。

千葉真由美委員：

遠野テレビからの利用料金のお知らせとチラシを比べてみた時に、加入しているコースがどれに該当するか考え込んでしまいます。このチラシは未加入者に向けたものか、加入者に向けてインターネット利用を推奨するものなのか、目的によって表現が異なると思います。

佐々木浩章代表取締役専務：

遠野テレビに加入していてもインターネットに加入されていない方、全く加入されていない方の両方をターゲットにしてチラシを作成しています。

ただし、新聞折込のため全世帯には配れていない事実もありますので、ホームページにチラシ画像を掲載するなどして周知しています。

委員からお話があったように、チラシを見ての不明な部分への問い合わせについては、丁寧にしっかりお伝えさせていただきたいと思います。

様々な形で周知をしながら、皆様にわかりやすくということ意識していますが、まだまだ足りない部分もございますので、皆様とコミュニケーションをしっかりとりながら信頼関係を作って丁寧に説明させていただきたいと思います。

議 長：

次の審議のなかでもご意見を頂戴しますので、進ませさせていただきます。

5 審 議

議 長： 次に、審議に入ります。事務局から説明をお願いします。

※佐々木情報推進課長補佐が、(1) 放送番組の編集に関する基本計画及び遠野テレビ放送番組基準について説明。

菊池報道制作グループサブマネージャーが、(2) 令和 5 年度遠野テレビ自主放送番組の編成計画（案）について説明。

議 長： ただいま事務局の方から放送番組の編集に関する基本計画および等のテ

レベ放送番組基準について資料に基づいて説明がありました。

ここで審議事項に限らず、遠野テレビの放送などについて皆様方からご意見を頂戴したいと思います。

松田奈美江委員：

小さい子どもが4人いますので、学校とか保育園の様子を放送していただいて微笑ましく、情報共有にもなるなと思って楽しく拝見させていただいております。

趣旨とは違うかもしれませんが、昨年市議会議員選挙の際に、選挙権が18歳まで引き下げられ、高校生とか若い子たちがどこまで選挙に関心をもったのかが気になりました。政治の面で番組的にどこまで関われるか公平性とか難しいと思いますが、議員と身近に関われる何かコーナーのようなものがあれば、議会と市民がもっと近くなれるのではないかなと思いました。

生番組とかも楽しく見ていますし、年末の1年間を振り返る放送番組も今年もこんなことあったねと思い返しながら見ています。

番組基準の方も今の時代に合った内容をよく網羅されていて良いのではないかなと思いました。

千葉真由美委員：

高清水の雲海とても素敵な映像でした。

「川柳を詠む」が、しっかり伝わるような朗読で同時に文字も入っておりますので、目や耳が悪い方にも優しく良いと思います。解説の字体は、独特な少し平べったい形でちょっと読みにくい気がするのですが、文字も読みやすければ更に良くなると思います。背景はいつもとても綺麗で、この景色なのかなと思って眺めております。

小笠原晃委員：

たまたま正月に目にした「遠野遺産にいーぐ」の特別編がすごくいい番組でした。私の好きな「めがねぼし」が取り上げてられていて、地域関係者の八重樫正昇さんが一生懸命活動してきたこれまでの経緯を語っていて、あの様に綺麗に保たれているというのがわかって、まちづくりの観点からも大変勉強になりました。本当にいい番組だったと思っています。

説明の中でもありましたが、小さいイベントの中継も是非やっていただきたいなと思いました。ネット配信もずっと思っていたことでありまして、同時とはいかなくても、例えば、5時台とかに今日のおのタイムではこういう内容をやるよって配信しても良いと思います。Twitterとかで配信すれば、若い世代も見erkるかもしれないと思いましたのでご検討いただければと思います。あとは、食べることが大好きなので街歩き、飲食店の紹介を楽しみにしています。

石直亮彦委員：

20年、30年先を見据えて見直していくのであれば、若者枠がもっと必要かなと思っています。例えば、地域おこし協力隊員が遠野にもたくさん来ていますよね。元隊員のOBを含めてこの人達をもっと巻き込んで欲しいです。情報発信が得意な人もいます。隊員も様々な目的を持って遠野に来ていると思いますが、市民から見えにくいので、何の活動をしているか紹介する必要があると思います。他の地域から入ってきた協力隊員方が遠野の魅力をいろいろわかっていると思います。

そういう人達から、遠野の良いところを紹介してもらい、地元の若者達をもっと巻き込んで欲しいと思います。横展開の輪を広げて、チャンネルの枠を盛り上げていただきたいです。

JR、釜石線も大変ですので、鉄道の魅力もアップしていく必要があります。

ます。遠野テレビも映像という部分で協力できるので、釜石線沿線の釜石市、花巻市の各ケーブル局と協力して何かできないかというところがあります。例えば、釜石線は銀河鉄道のイメージがあるので、そのイメージを利用したり、仙人峠の急坂にはトンネルがたくさんあるので、列車にカメラなどつけて、ド迫力の映像撮ったりするのも良いと思います。鉄道に関しては、鉄道マニアが当地にもたくさんいると思うので、募れば過去の映像とかも手に入ると思うので、いろいろ協力してもらえればいいかなと思います。

一部だけが盛り上がりたとしてもしょうがないので、市民全体を巻き込むという形で遠野テレビには頑張ってくださいと思います。

菊池タキ委員：

子ども達の大きくなったら何になるっていうのがすごく評判が良くて、お母さん方は学校や保育園の様子が映るのを楽しみにしているようです。高齢者には20年前映像の評判が良いです。

正月だったら正月はこういう行事をしていたとか、小正月はこういうことをしていたとか、年配の人達も楽しませるような番組の要望がありました。高齢者が生きがいとして出演できる番組も検討してほしいです。

ただ残念なことに、松崎町の加入率が低くなって聞ききました。園児の母親に、遠野テレビは子ども達の様子や活動が映りますよって宣伝したら、スマホで見ることができると言われて、せっかくこんないい番組を放送して災害の情報もすぐに入手できるのになぜ入らないのか、地元の間人として頭が痛いところです。

立花和子委員：

やっぱり地元のことをよく知るには遠野テレビだなと思っています。

私は昔話の語り部をしていますが、「明けがらす」の昔話もありますので、どうやってできたのかなど物語からたどるようなことを取り入れてみるのもおもしろいと思いました。

松田委員の議会の話に関連しますが、議員から誘われて市議会の見学に行ったことがあります。議員は議会に関心を持ってもらいたいと考えているそうです。見学は自由にできます。

小笠原康友委員：

去年の遠野まつりの中継ですが、設置された定点カメラに長らく出演者が映らない状況になっていたのが残念でした。

インターネットの件ですが、遠野テレビに電話してインターネットが繋がらないのでどうしたらいいか確認したところ、電話での指示のみの対応で終わり不安になりました。対応が不親切な印象を受けました。

ユーチューブ発信ですが、琴畑溪流を4Kカメラの大迫力で紹介してもらえたらと思います。

菊池豊委員：

菊池タキ委員もお話していましたが、老人クラブの方も様々な役割を担っていますが、新型コロナウイルスの影響もあって老人クラブの活動する場が少なくなっていると思います。コロナも収束して今年から活動を再開する計画があるようです。どんどん元気を出させるために、老人クラブの活動というのでも放送していただきたいと思います。

菊池保夫委員：

自主放送番組の取組のなかで4Kテレビ、ドローン活用とありますが、今のところ遠野の自然は本当に綺麗ですが、太陽光パネルが至る所に設置されるなど自然が破壊されつつあるということも踏まえて、美しい遠野の四季の移ろい、残すべき文化など力を入れてアーカイブしていただきたいです。20年後30年後にすごく生きてくると思うので、大変ですが、

特に力を入れていただきたいと思います。

遠野テレビには直接関係ないかもしれませんが、今国会とか様々話題になっている性的少数者とかの取扱いに気を付けていただきたいと思います。

どこのチャンネルを見ているSDGsをパネルなど画面越しで目にしますし、正直私自身もこのSDGsを詳しくはわからないというのがありますので、遠野テレビでも押し付けではなくさりげなく流すような工夫があつていいと思います。

中村孝子委員：

遠野テレビは楽しみで毎日必ず見ております。とっても大好きです。

私は犬が大好きですので、犬猫などのペットのことも取り上げていただきたいと思います。

「遠野映える」も大好きで見ております。四季の観葉植物とか花とかを放送していただきたいと思っています。

議長：委員の皆様、貴重なご意見ありがとうございました。

佐々木浩章代表取締役専務：

皆様からとても嬉しくなるような話並びに反省すべき内容についてご意見いただきありがとうございました。

皆様方からのいろんなご意見を番組に反映するか、または当社としてのサービスに反映するかということをいつもこの番組審議会の後に、すぐに協議して改善を図っております。実際にはすぐできるものと、少し時間をかけないとできないこともあります。限られたスタッフ体制の中で何とか効率よく改善していきたいと思っています。特にもインターネットの関係のお問い合わせについては、遠野テレビに繋がっていれば安心だということコンセプトに掲げております。

お話があった件については、どういった部分が不親切に当たったのかということもしっかりフィードバックして改善されるように展開していきたいと思っています。委員の方々が実際に当社のサービスを受ける中でのご意見を受け止めて、サービス向上に繋げていきたいと思っています。

ペット関係については様々要望がございまして、先に犬なのか猫なのかという部分はあると思いますが、例えば今年は兎年ということもあって、正月から兎の映像を上郷の牧場に行って撮影してきました。ペットの対象をどこからにするかなどスタートに向けて考えておりますので、情報等がありましたらお願いしたいと思います。

菊池裕報道制作グループサブマネージャー：

石直委員からご意見のあったJR関連について補足します。

自社の来年度計画には入れておりませんでした。県内ケーブルテレビ各局の共同番組で「みちのく情報局」というのがあり、今年計画の中で6月にSL銀河が最終運行を迎えることから、沿線各局が協力して特別番組の制作を計画しておりますので、お時間ある時にご覧になっていただければと思います。

議長：審議について何かございませんか。無いようですので、次に進みます。

6 その他

議長：次に、その他に入ります。事務局から説明をお願いします。

※佐々木情報推進課長補佐が、(1) 遠野テレビ指定管理者制度移行について説明。

議長：説明について何かございませんか。

立花和子委員：

光ファイバーの工事で速度が早くなると思っていたが、早くならなかった。遠野テレビに来てもらって料金によって速度が違くと説明を受けました。どれを基本に料金設定しているのか聞きたいです。便利になるのは、良いけど、お金で速さが違うというのが、なかなか理解できないです。

事務局：料金設定の部分だけまず私の方から説明させていただきます。光ファイバーの整備にあわせてメニュー2つを追加したというところがございます。今までなかった 200Mと1Gというスピードの速いメニューを追加しました。光ファイバー整備によって高速に対応した環境を整えることができました。

料金の考え方につきましては、民間のインターネット事業者さんと同等の金額設定をさせていただいております。今現在の加入が一番多いのはCコースになっています。どうしても使用される方によってスピードが遅い早いがありますが、インターネットの動画等を見られる方はまずCコースの15Mあれば通常は問題なく運用できるということになっております。

ただ皆さんが集中して利用する時間帯に混雑し、動きにくくなるようなケースがあります。今までは農道とか市道みたいな狭い道路が高速道路のように広い道路に変わるため、同じスピードであっても道路環境が改善されるため、スムーズに利用できる環境が整うというような形で説明させていただいてきたところがあります。

伊藤賢一技術営業グループマネージャー：

補足の説明をさせていただきます。F T T H工事のときに早くという説明を耳にしたことがあるかと思いますが、今までのH F Cの同軸のケーブルのよりも、より太く早い伝送路が出来上がったということで、新しくEとFの高速速度が設定可能なコースが作られたということになります。

従来のAからDの各コースについては速度が安定的になり、混雑する時間帯にも、契約いただいているコースの速度が出る環境が整ったとご理解いただければと思います。

例としては、インターネットゲーム利用者からの通信の遅れに対する苦情も解消されるようになりました。

千葉真由美委員：

去年、一昨年はインターネットがつながらない時間帯がありました。立花委員の話聞いていて思ったのは、Wi-Fi 機器の近くは早いけれども、離れた場所で利用しようとするとき遅くなるのが原因で、息子に相談し、中継器を設置したら改善しました。

建物の構造がどのような構造なのかもスピードに影響してくると思いますので、そのあたりの考慮も必要だと思います。

石直亮彦委員：

関連ですが、今議題となったインターネットの問題を、逆に「とおのタイム」を利用して、代表的な事例を挙げ、こういう事象がありませんか？と尋ねて、該当する場合は連絡いただくような仕組みについて検討した方が良いと思います。

議長：この件は、遠野テレビでご検討をお願いします。他にありませんか？

小笠原晃委員：

指定管理になるタイミングというのもあつての確認になりますが、以前に衛星電波のパススルーを計画している話を伺いましたが、どうなっていますか。

また、指定管理になることによって遠野テレビの中でいろいろ進めていける部分が増えるとは思いますが、近隣では指定管理の電気料金が問題になっていますので、気を付けていただきたいと思います。

事務局： パススルーについては、F T T H整備の際に紹介していた部分になります。パススルーは、S T B機器を設置せずにB SとかC Sの多チャンネルを視聴する仕組みですが、指定管理に合わせた導入は予定していません。

現在はS T Bの中にあるカードで制御を行っていますが、カードの更新時期のタイミングもあり、また多チャンネル視聴から地上波放送のみの視聴への切り替えも増えていますので、そういった推移を見ながら今後の整備を検討していかなければならないと考えているところです。

電気料金の問題については、市の指定管理施設の部分ですごく大きな課題となっております。今回のケーブルテレビ事業におきまして、H F C設備の伝送には電気を流すための電柱とその設備がございましたが、F T T H化によりH F C設備を全部撤去したことにより、電気使用量はだいぶ下がりました。経費を削減できる見込みでしたが、電気料金自体が高まったことで、同じくらいの金額で推移しているところです。これ以上の変化がなければ、想定通り管理運営を進めていけると思います。

議長：他に何かございませんか。無いようですので、本日の審議事項をすべて終了します。ご協力ありがとうございました。

市長：楽しい審議ありがとうございました。今回も本当に参考になるご意見をいただいたなと思っています。

かゆいところに手が届くようなお知らせをどのようにしていくか、テレビの中でもいろいろできると思います。丁寧な対応が必要だと思います。

まつりの定点カメラの件は不評でした。やっぱり動きをしっかりと撮影すべきと反省しました。美しい遠野や様々な活動を取材してアーカイブを整理して、コンテンツとして使えるようにしていくというところに、S N S配信、S D G sにつながっていくと思います。

これから各地域の活動にもっと目が行くだろうなと思います。小さな拠点でいろいろ地域を回らせていただいていると、それぞれの個性ある活動が出てきています。できるだけその活動のお知らせをして、皆さんに参考にしていただくことが必要だと思います。

若者枠で地域おこし協力隊の話が出ましたが、これまでは関東圏からの移住者が中心でしたが、今年から遠野出身の人も採用し、Uターンでも利用できるような形をとりました。広く人材を遠野に呼び戻せるのではと期待しています。S D G sに関しては画面のどこかに見えるところに後ろにバックボードとかで表現できていると思います。

デジタル化、これに関してちょっと新しい取り組みも考えているところなので、専務からお知らせします。

本当に今日もありがとうございました。

佐々木浩章代表取締役専務：

それでは、ご説明をさせていただきます。

令和5年4月から指定管理ということでスタートします。これまで皆様のご協力とご理解をいただきながら、22年運営してまいりました。

おかげさまで光化整備が完了し、デジタルを通じたまちづくりに遠野テレビがどのように関わられるか真剣に考える段階に来たと感じています。そのために、やはり若者が主体的にやはりこのデジタルというものを掲げながら新しいまちづくりを発信していかなければならないと思い、まずその拠点を遠野テレビが設置することにしました。まちなかにサテライトスタジオ機能、

e スポーツ、それこそメタバースも体験できる空間として、新たに地域DXセンターを開設したいと考えています。そこを拠点に、若者や企業、市民の方々と交流し、新たな可能性を探りたいと考えていますので、これからもご協力をお願いいたします。

7 開 会（情報推進課長）

以上で、第2回遠野テレビ放送番組審議会を閉会させていただきます。
本日はありがとうございました。